

チャレンジ ワークシート①

組番	月日	正答数 /3
名前		

ねらい ●いろいろな問題にチャレンジしてさらに力をつける。

① 次のア～ウの方法でがい数を求めると10億^{おく}になる整数について、あとの問題に答えましょう。

- ア 四捨五入^{ししゃごにゅう}して、一億^{くわい}の位までのがい数にする。
- イ 四捨五入して、上から1けたのがい数にする。
- ウ 四捨五入して、上から2けたのがい数にする。

(1) がい数が10億になる整数のはんいがいちばんせまいのは、ア～ウのどの方法のときですか。

[]

(2) がい数が10億になる整数のうちで、いちばん大きい数はいくつですか。また、それはア～ウのどの方法のときですか。

いちばん大きい数 [] 方法 []

② ひらりさんは、 $960000 \div 28000$ の計算を、次のように考えました。

ひらりさんの計算の考え方が正しいときは○を、まちがっているときは×をかきましょう。また、まちがっているときは、そのわけを説明して、正しく計算しましょう。

【ひらりさんの計算の考え方】

わられる数とわる数の0を消して、 $96 \div 28$ を計算する。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 28 \cancel{000} \overline{) 96 \cancel{0000}} \\ \underline{84} \\ 12 \end{array}$$

答え 3あまり12

(×のわけ)

(正しい計算)

○か×の記号

答え _____

チャレンジワークシート①

〈答え〉

- ① (1) ウ
 (2) いちばん大きい数
 1499999999
 方法 イ

！ワンポイントアドバイス

- ア 千万の位で四捨五入する。
 9500000000以上10499999999以下
 イ 上から2つめの位で四捨五入する。
 9500000000以上14999999999以下
 ウ 上から3つめの位で四捨五入する。
 9950000000以上10499999999以下

〈答え〉

- ② ×
 (×のわけ) (れい)
 ・わる数とわられる数の
 消した0の数がちがう。
 ・あまりに0をつけてい
 ない。

(正しい計算)

$$\begin{array}{r} 34 \\ 28000 \overline{) 960000} \\ \underline{84} \\ 120 \\ \underline{112} \\ 8000 \end{array}$$

答え 34あまり8000

**！ワンポイント
アドバイス**

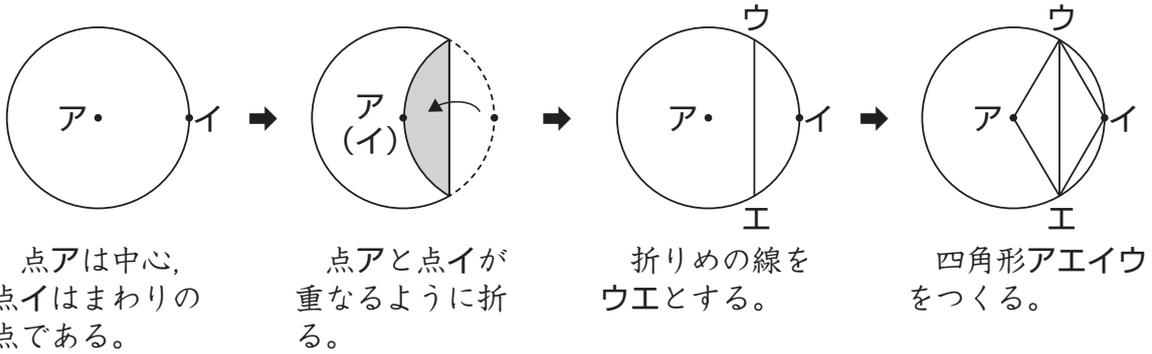
あまりに、消
 した数だけ0を
 つけることをわ
 すれずに。

チャレンジ ワークシート②

組番	月日	正答数 /3
名前		

ねらい ●いろいろな問題にチャレンジしてさらに力をつける。

① 下の図のように、丸い紙を折って、四角形をつくります。この四角形の名前を答えましょう。また、そのわけを説明しましょう。



(四角形の名前)
(わけ)

② 右の図は、ある月のカレンダーです。たてにならぶ数について、次の問題に答えましょう。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

(1)

3
10

 のように、たてにならぶ2つの数の関係を調べます。

上の数を□，下の数を○とするとき，□と○の関係を式に表しましょう。

[]

(2)

8
15
22

 のように、たてにならぶ3つの数の関係を調べます。

真ん中の数を□，3つの数の和を○とするとき，□と○の関係を式に表しましょう。

[]

チャレンジワークシート②

〈答え〉

- ① (四角形の名前) ひし形
(わけ) (れい)

辺アウと辺アエは1つの円の半径だから等しく、辺アウと辺イウ、辺アエと辺イエは折ると重なるから等しい。辺の長さがみんな等しいから、ひし形になる。

〈答え〉

- ② (1) $\square + 7 = \bigcirc$ ($\bigcirc - \square = 7$)
(2) $\square \times 3 = \bigcirc$ ($\bigcirc \div 3 = \square$)

！ポイントアドバイス

次のことを使って考える。

- ・1つの円の半径は等しい。
- ・折って重なる線の長さは等しい。

！ポイントアドバイス

- (1) $\begin{array}{l} \boxed{3} \\ \boxed{10} \end{array} \leftarrow 3+7$ $\begin{array}{l} \square \\ \bigcirc \end{array} \begin{array}{l} \downarrow 7\text{ずつ} \\ \downarrow \text{ふえる} \end{array}$
- $8 \leftarrow 15-7$
- (2) $\begin{array}{l} 15 \\ \boxed{22} \end{array} \leftarrow 15+7$
- $(\underline{15-7}) + 15 + (\underline{15+7})$